

Minato Philharmonic Symphony Orchestra

みなとフィルハーモニー交響楽団 第10回定期演奏会

指揮：奥田恵悟

ソプラノ：河内夏美 / アルト：石川紀子

テノール：松岡幸太 / バリトン：寺田功治

合唱：ロツソ・ヴィーヴォ混声合唱団

♪喜歌劇「こうもり」序曲

♪交響曲第9番「合唱付き」ベートーヴェン

2017年 **12月24日(日)**

13時開場 13時30分開演

江戸川区総合文化センター
大ホール

入場無料

私たちは毎回の練習を通じ、楽しさや充実感を味わう事を大切にしております。

日曜日午前中の練習に皆様も参加しませんか？

詳しくはHPをご覧下さい。

第11回定期演奏会のご案内

2018年9月～11月に開催予定 詳細未定



みなとフィル 検索

HP <http://minatophil.com/>
お問合せ info@minatophil.com

指揮：奥田恵悟



2000年3月、東京音楽大学音楽学部器楽科卒業、2002年3月、東京音楽大学指揮研究生修了。指揮を広上淳一、汐澤安彦、三石精一の各氏に師事。2003年、2004年と、イタリア、シエナのキジアーナ音楽院夏期講習会に参加。指揮をジャンルイージ・ジェルメッテイ氏に師事し、オペラやシンフォニーなどを学ぶ。

いずれの年も、ファイナルコンサートの指揮者に選ばれ高い評価を得る。翌2005年にはシエナを訪れたのち、約1ヶ月間ローマ歌劇場の「フィガロの結婚」のリハーサルを聴講するなど、オペラの修業にも専念する。

コンクールの分野では、2003年11月に行われた東京国際音楽コンクール指揮部門にて入選。2005年4月にはデンマークで開催された、ニコライ・マルコ指揮者コンクールにて3位に入賞している。

2007年から2011年8月までドイツ、ライプツィヒに在住。MDRオーケストラ(ドイツ中央放送オーケストラ)音楽監督の準・メルクル氏に師事、そしてアシスタントをしながら研鑽を積む。またその間の2008年から2010年までメンデルスゾーン音楽院で学び、ドイツ国家演奏家資格を取得。その際、授業の一環としてMDRオーケストラ、イエナフィルハーモニー、西ザクセンオーケストラなどを数回指揮するほか、音楽院のオペラプロジェクトにおいて、モーツアルトの「魔笛」やブランクの「ティレジアスの乳房」(ドイツ語版)を指揮している。

帰国後は、大阪交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団などを指揮。また近年では藤原歌劇団で複数の演目において副指揮者を務めるなど、オペラの活動も盛んに行っている。そのほかこれまでに、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、オーデンセ・シンフォニー・オーケストラ(デンマーク)などを指揮している。

ソプラノ：河内夏美



千葉県出身。武蔵野音楽大学声楽家卒業。東京藝術大学音楽部別科終了。二期会オペラスタジオ第43期修了。

オペラでは「蝶々夫人」「修道女アンジェリカ」「ジャンニスキッキ」「椿姫」「ヘンゼルとグレーテル」「魔笛」「フィガロの結婚」「コジファン・ウッテ」「カルメン」等出演。宗教曲では、イタリアにて「スター・バト・マーテル」「ミゼレーレ」ソプラノソリストを、国内にてヴェルディ、モーツアルト「レクイエム」「交響曲第9番歓喜の歌」ソプラノソリスト務める。

東京ドームで行われた、日本ハムXロッテ戦で国家独唱。小松原庸子主催「フラメンコオペラを舞う」にて椿姫ヴィオレッタ役。他にもカルメン役で歌唱。

第26回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門入選。第18回「長江杯」国際音楽コンクール一般の部B 第2位。清水かつら記念日本歌曲歌唱コンクール第二位、併せて埼玉県知事賞受章。ヴェステラウト作曲イタリア歌曲(イタリアにてCDの録音)、秋に発売。他にも河内夏美ソプラノリサイタルVOL1、MIO TESORO宝物絶賛販売中。現在二期会、日本声楽アカデミー。オフィシャル・サイト <http://natsumisoprano.sakura.ne.jp/>

テノール：松岡幸太



香川県出身。高松第一高等学校音楽科卒業。昭和音楽大学卒業、昭和音楽大学大学院修了。

故・早瀬一洋、中島基晴、Nicola Martinucci の各氏に師事。第50回伊芦楽コンカルソ第2位受賞、併せて日伊音楽協会賞、読売新聞社賞、五十嵐喜芳賞受賞。下八川圭祐基金を得てイタリアに留学。イタリアオペラを中心に出演、レパートリーを持つ。

現在、昭和音楽大学重唱研究員。昭和音楽大学附属音楽・パレエ教室講師、オペラサロントナカイ登録アーティスト、アーティスト会員、藤原歌劇団団員。

アルト：石川紀子



東邦音楽大学卒業。ロッシーニ『とんでもない誤解』エルマンノ役でオペラデビュー。米国NYにて研鑽を積む。主に「魔笛」の侍女Ⅱ、Ⅲ、「ルチア」のアリーサ、「カルメン」のカルメン、メルセデス、「蝶々夫人」のスズキ、「マクベス」の夫人の侍女、「フィガロの結婚」のケルビーノ、「コシ・ファン・ウッテ」のドラベッラ、「こうもり」のオルロフスキ、その他「第九」アルトソロも数多く出演している。

海外ではイタリア・ブリアにてペルゴレージ「スター・バト・マーテル」、ローマにてオペラガラコンサート、ベルギーにてコンサート出演。ロンドン・ウェイン・モスクワ・ローマにて「蝶々夫人」(演奏会形式)にスズキで出演。またオーケストラの定演等にも出演し好評を博している。

藤原歌劇団所属

バリトン：寺田功治



東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。英国ギルドホール音楽演劇学校から奨学金を受け大学院修士課程オペラコース修了。

これまでに小澤征爾音楽塾プロジェクト、及びサイトウ・キネン・フェスティバルにて小澤征爾氏と度々共演。

英国グラインドボーン音楽祭にて歌劇「ドン・パスクワーレ」マラテスタ役のカヴァー・キャスト。アイルランド・ウェックスフォード・フェスティバルではヨーロッパ初上演になったケヴィン・ブツ「サイレント・ナイト」英國中佐を勤める。

第11回 コンセール・マロニエ21第1位。第7回エレーナ・オブラスツォワ国際声楽コンクール 第3位。第85回日本音楽コンクール(歌曲)第2位。

ロッソ・ヴィーヴォ混声合唱団



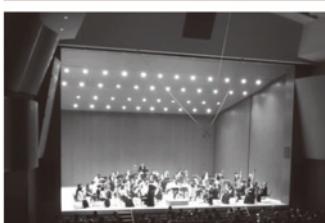
2009年、千葉県船橋市で、モーツアルトレクイエムの公演のために結成された混声合唱団。

公演後、複数団員より解散を惜しむ声が聞かれ、2013年の船橋市民文化ホール35周年記念公演ヴェルディ「レクイエム」では、合唱の核となり公演を成功に導く。

2017年現在、下は15歳から上は80代まで、幅広い団員が共通の「音楽を愛する気持ち」で心ひとつになり、ただ今「ドイツレクイエム」公演の成功に向け一丸となっている。

船橋社会教育団体登録。

みなとフィルハーモニー交響楽団



2011年2月に発足したアマチュアオーケストラです。演奏会だけではなく、毎回の練習にも楽しさと演奏の充実感を味わうことを活動の目的としています。演奏会は2年に3回程度のペースで実施し、練習は月に2~3回、主に日曜日の午前を行っています。練習会場は江東区などの都内の公共施設を主に利用しています。

当団では、奥田恵悟指揮によるベートーヴェンの交響曲全曲演奏を当面の目標としており、これまでに1番、3番、8番を演奏しています。そして第10回と節目となる今回の演奏会では第9にチャレンジします。

また、みなとフィルでは新しい仲間を募集しております。

募集中のパートや練習予定などは<http://minatophil.com/>をご覧ください。